

伊豆津健一：“日本薬学会編「スタンダード薬学シリーズII」, Vol. 6 VII 製剤化のサイエンス”, 第6章 製剤化と製剤試験法, 東京化学同人, 東京, pp.132-166 (2017)

加藤くみ子：“DDS先端技術の製剤への応用開発”, ナノDDS・リポソームDDSの医薬品応用, 株式会社技術情報協会, 東京, pp.29-35 (2017)

橋井則貴, 石井 明子：“ペプチド医薬品のスクリーニング・安定化・製剤化技術”, ペプチド医薬品の品質評価と関連するガイドライン, 株式会社技術情報協会, 東京, pp.485-93 (2017)

袴塚高志：“パートナー生薬学改訂第3版増補”, 竹谷孝一, 木内文之, 小松かつ子編集, 南江堂, 東京, pp.165-172, 381-392 (2018)

花尻 (木倉) 瑠理：“アルカロイドの科学－生物活性を生み出す物質の探索から創薬の実際まで”, 第24章 アルカロイドと危険ドラッグ, 高山廣光編, 化学同人, 京都, pp.491-506 (2017)

内山奈穂子：“アルカロイドの科学－生物活性を生み出す物質の探索から創薬の実際まで”, 第25章 危険ドラッグの分析化学, 高山廣光編, 化学同人, 京都, pp.507-523 (2017)

花尻 (木倉) 瑠理：“薬毒物試験法と注解2017”, I-6 危険ドラッグの流通と健康危害, II-5 大麻試験法 5.2 カンナビノイド受容体作動薬, II-7 亜硝酸エステル類試験法, 日本薬学会編, 東京化学同人, 東京, pp.34-35, pp.165-174, pp.201-203 (2017)

三浦巧：“再生医療と医事法 (医事法講座第8巻)”, 米国における再生医療の規制の動向とヒトES細胞の医療応用の現状, 信山社, 東京, pp.121-133 (2017)

内田恵理子：“実践 微生物試験法Q&A-医薬品・食品品質管理の正しい理解とアプローチ”, マイコプラズマ否定試験法 核酸増幅法に市販キットを用いる場合の考え方と核酸増幅法の位置づけ, 佐々木次雄, 棚元憲一, 菊池裕編集, (株)じほう, 東京, pp.56-8 (2017)

井上貴雄：“先端治療技術の実用化と開発戦略 (核酸医薬, 免疫療法, 遺伝子治療, 細胞医薬品)”, 第1章 核

酸医薬品における開発の現状と安全性評価, 第1節 核酸医薬品の開発動向, (株)技術情報協会, 東京, pp.3-18 (2017)

前田瑞夫^{*1}, 細川和生^{*1}, 落谷孝広^{*2}, 北森武彦^{*3}, 一木隆範^{*3}, 馬渡和真^{*3}, 今井 靖^{*4}, 黒田雅彦^{*5}, 前川真人^{*6}, 村上善基^{*7}, 湯川 博^{*8}, 菊池春人^{*9}, 戸塚実^{*10}, 丹羽 修^{*11}, 植松美幸, 野村祐介, 靛島由二：“リキッドバイオプシー：血中腫瘍マーカーの検出・解析技術”, 第I編第6章：微量診断装置の開発・薬事承認を加速する行政的施策, シーエムシー出版, 東京, pp.46-60 (2017)

^{*1} 理化学研究所

^{*2} 国立がん研究センター研究所

^{*3} 東京大学

^{*4} 自治医科大学

^{*5} 東京医科大学

^{*6} 浜松医科大学

^{*7} 大阪市立大学

^{*8} 名古屋大学

^{*9} 慶應義塾大学

^{*10} 東京医科歯科大学

^{*11} 埼玉工業大学

植松美幸, 宮島敦子, 野村祐介, 靛島由二, 伊佐間和郎^{*1}, 岩崎清隆^{*2}, 梅津光生^{*2}：“医療用バイオマテリアルの研究開発”, 血液適合性評価法の開発, シーエムシー出版, 東京, pp.26-40 (2017)

^{*1} 帝京平成大学

^{*2} 早稲田大学

五十嵐良明：“衛生試験法・注解2015 追補2018, 薬毒物試験法と注解2017 追補2018”, 生活用品試験法／化粧品試験法／不純物／ジエタノールアミン／高速液体クロマトグラフィーによる定量, (公社)日本薬学会環境・衛生部会編集, 金原出版 (株), 東京, pp.8-9 (2018)

野田衛：改訂新版ノロウイルス食中毒・感染症からまもる!!—その知識と対策—. 公益社団法人日本食品衛生協会. 156pp (2017)

佐々木次雄, 棚元憲一, 菊池 裕／編：実践 微生物試験法Q&A 医薬品／食品品質管理の正しい理解とアプローチ, (株)じほう東京, 東京, (2017)

大西貴弘：“食と微生物の辞典”，食中毒原虫，北本勝ひこ編集，(株)朝倉書店，東京，(2017)

安達玲子：“食品事業者のための食物アレルギー対策”，第3章：食物アレルギーの表示，第4章-2：アレルギーの検査について，田中慶司監修，日本食品衛生協会，東京，pp.23-31, pp.62-68 (2017)

登田美桜：“食品衛生監視員のための実例から学ぶ食中毒”，第1章自然毒・高等植物 など，「行政と食中毒」改訂版政策委員会，東京，pp.209-229, pp.248-263 (2017)

平林容子：“機能性食品開発のための初期評価試験プロトコール集”，安全性評価の考え方，山本（前田）万里編，株式会社シー・エム・シー出版，東京，pp.357-60 (2017)

平林容子：“機能性食品開発のための初期評価試験プロトコール集”，機能性関与成分の安全性の評価について，山本（前田）万里編，株式会社シー・エム・シー出版，東京，pp.361-66 (2017)

平林容子：“トキシコロジー（第3版）”，血液毒性，（一社）日本毒性学会教育委員会編，株式会社朝倉書店，東京，pp.171-80 (2018)

北嶋 聡：“トキシコロジー（第3版）”，食品，食品添加物，食品汚染物質，飼料添加物・汚染物質，（一社）日本毒性学会教育委員会編集，株式会社朝倉書店，東京，pp.79-91 (2018)

本間正充：遺伝毒性，トキシコロジー（第3版），日本毒性学会教育委員会編，朝倉書店，東京，pp.128-141 (2017)

Kojima H, Katoh M: “Alternatives for dermal toxicity

testing” , Part I: Skin irritation, 5: *In vitro* skin irritation assay with the LabCyte EPI-MODEL, Editors: Eskes C, Vliet E, Maibach M, Springer, Switzerland, pp.73-80 (2017)

Kojima H, Hosoi K, Onoue S: “Alternatives for dermal toxicity testing” , Part IV: UV-induced effects (phototoxicity and photoallergy), 34: Reactive oxygen species assay for evaluating phototoxicity potential, Editors: Eskes C, Vliet E, Maibach M, Springer, Switzerland, pp.477-482 (2017)

Kojima H: “Skin permeation and disposition of therapeutic and cosmeceutical compounds” , Part V: Selection of topically applied chemical candidates, 26: *In vitro* evaluation for skin toxicity, Editor: Sugibayashi K, Springer, Japan, pp.297-304 (2017)

小島 肇：“トキシコロジー（第3版）”，6. 標的臓器と毒性発現，6.10皮膚・粘膜毒性，日本毒性学会教育委員会編，(株)朝倉書店，東京，pp.279-286 (2018)

小島 肇：“トキシコロジー（第3版）”，8. 動物実験代替法，日本毒性学会教育委員会編，(株)朝倉書店，東京，pp.320-325 (2018)

広瀬明彦：“トキシコロジー（第3版）”，4.6 ナノマテリアル，日本毒性学会教育委員会編，(株)朝倉書店，東京，pp.107-112 (2018)

広瀬明彦：“ICH Q3D元素不純物/Q3C残留溶媒の許容限度値/試験法設定と適切な管理手法”，第2章 ICH Q3Dにおける毒性評価の考え方と許容限度値の設定，サイエンス&テクノロジー，pp.21-29 (2017)